



令和4年11月28日
理事会資料
審判部

2022年度関西女子学生バスケットボールリーグ戦 反省事項

・メール配信について

理事の方に確認してもらうテストメールを送るのが遅く、配信が遅くなることがあった。
→大会前におよその予定を立てその予定までに配信できるようにテストメールや資料の作成を行う。また、それを元に今何をしたらいいのか、連絡しておいたらいいか、準備しておけるものは何か考える。

そして、他部署との連携を密にしていく。

・実費精算について

実費精算の方に領収書を貰い忘れてFAXで送ってもらうことがあった。
→基本的に審判部が審判料をお渡しする際に領収書を貰うようにしていたが、審判部がない場合、審判部以外が審判料を渡すときも忘れず領収書を貰うように確認、共有しておく。

・審判料・交通費の見積もりについて

見積もりに間違いがあり、審判の方が気づいて下さり修正してお渡しすることがあった。
→2人以上でミスがないかダブルチェックを行う。一応、これからも審判の方にはお渡しする際に料金に間違いがないか確認してもらい渡し間違いがないようにする。

・割当配信後のフォーム返信確認

割当配信後の割当確認フォーム返信の確認ミスがあり、リマインドを配信した際に確認できていなかったと連絡をいただき対応して頂くことがあった。
→確認は2人以上でダブルチェックを行い、ミスを減らす。

・こまめなホウレンソウ（報告・連絡・相談）

→作業についてこまめな情報共有や途中経過報告をする。
現時点ではどのような状況になっているのかや状況に変更等があった場合はその都度報告すること、作業をどこまで進めているのか、や作業をどのように考えてどうしていこうと考えているのか、どうしていくのかの報告などが無かったため、理事から催促されてから報告ということが多かった。自分たちから進捗等の報告や連絡を行う。

・期限を守る。

→自分たちで設定した期限(回答や作業日程等)はきちんと守る。
出来ない場合はその時の状況を自分たちから伝える。
審判部内でしっかりと引き継ぐ。

・割当チェック

→出身校・年齢だけでなく、名前の字体や出身府県の確認

・帯同審判

→7名参加 1人2回ずつ担当